

経営協議会の学外委員からの意見を法人運営に反映した主な事例（平成22年度）

| 主な意見 | 具体的な取組 |
|-----------------------|--|
| 「課外におけるキャリア形成支援について」 | <p>学生の課外におけるキャリア形成として、ボランティア活動等を支援する組織的なシステムの整備が必要であるとの意見を踏まえて、平成23年度からキャリア・サポートセンターの機能強化を図ることとした。連携担当副学長をセンター長とし、キャリア支援部門とボランティア部門を設け、構成員に特任教員を加えて就職支援・相談体制を固めるとともに学生の自主的活動のひとつであるボランティア活動を大学として支援し、教員の資質に必要な人間力形成の一助とすることとした。また、活動の成果について本学が証明書を発行することとし、学生が「キャリア」のひとつとして活用できるようにした。</p> |
| 「教職大学院のカリキュラム見直しについて」 | <p>教職大学院について、現職教員と学部卒業生の入学者比率が変化するのであれば、カリキュラムの見直しが必要であるとの意見、現職教員に対しては教職現場ですぐに実践に役立つカリキュラムを期待するとの意見を受け、平成22年度9月設置の「カリキュラム改革対応プロジェクト」において検討を重ね教育課程の改訂を行った。現職教員に対しては、学級・学校経営に関する教育の強化を図るための授業の導入、学部卒業生に対しては、教職能力の高度化を図るための基礎を重視した授業科目の導入についての検討を進め、平成23年度から実施することとした。</p> |

経営協議会の学外委員からの意見を法人運営に反映した主な事例（平成21年度）

| 主 な 意 見 | 具 体 的 な 取 組 |
|---|---|
| 「学生の授業時間外の学習時間を増やす方策等について」 | <p>「授業時間外の学習に図書館を活用することが重要である」等の法人支援アドバイザーの意見を基に経営協議会でも意見交換を行い、「ドクシヨノススメ☆プロジェクト」を2010年の国際読書年とも合わせ企画し、本を読む習慣を身に付けさせる取組を行うこととした。</p> <p>また、課外におけるキャリア形成として、ICT能力やボランティア活動等を支援する組織的なシステムの整備に向けて検討を行っている。</p> |
| 「後期日程試験合格者の入学辞退率が高いことについての原因及び今後の対応等について」 | <p>後期日程試験合格者の入学辞退率が平成18年度以降増加しており、入学試験委員会で対応を検討し、平成22年度入試から後期日程試験に面接を導入することとした。</p> <p>この結果、昨年の30.6%から6.5%に減少したが、面接の実施方法や評価方法等については引き続き検討を行っている。</p> |
| 「特別支援教育特別専攻科の志願者が少ないことの原因について」 | <p>特別支援教育特別専攻科の志願者の状況から、特別支援学校及び特別支援学級担任の特別支援教諭免許状を持たない者へは、宮城県教育委員会から委嘱されている認定講習により継続して対応することとし、教育学部の特別支援教育教員養成課程や教職大学院の教育相談部門、特別支援教育総合研究センターの充実発展に力を注ぐため、平成22年度に廃止することとした。</p> |
| 「大学の将来の発展に向けた方策の検討について」 | <p>大学の将来の発展に向けた方策の一つとして、本学の教育・研究・管理運営の向上に寄与することを目的に、教員の職務を一定期間免除し、国内外の研究機関において自己研修に専念できる「サバティカル制度」の導入を検討することとした。</p> |
| 「教員の活動状況の点検・評価の毎年実施の可能性の検討について」 | <p>教員の活動状況の点検・評価制度の見直しを行い、基本方針及び評価基準を改正し、評価を毎年度実施することとした。また、教員評価調査票を併せて改正し、教員の調査票作成に係る作業負担を軽減するようにした。</p> |

経営協議会の学外委員からの意見を法人運営に反映した主な事例（平成20年度）

| 主 な 意 見 | 具 体 的 な 取 組 |
|--|--|
| <p>「学生や保護者の地元志向が強いことを踏まえた、関東圏の教員採用に向けた就職支援策について」</p> <p>「教員以外の職業に就く学生たちへの就職支援について」</p> | <p>就職・連携室の下に教員対策WG、企業・公務員WG及びボランティアWGを設け、就職・連携室、キャリアサポートセンター及び就職担当教員が連携して、それぞれ就職先開拓及び就職指導等の方策を立案し、実行する体制を整備した。</p> |
| <p>「入学時から、教員を目指すモチベーションを下げさせないためのキャリア教育の在り方について」</p> | <p>学長の指示で、理事、教員、事務で構成するプロジェクトを立ち上げ検討を行い、「人間力形成（キャリア教育）」、「学力の質保証」及び「教員指導力改善」を3本柱とする教師力向上のための教育プログラムの検討を行った。</p> |
| <p>「前期日程、後期日程、推薦入学合格者毎の入学時の教員希望調査及び卒業時の教員就職率の統計を活用した就職支援について」</p> | <p>平成21年度入学者から、入学種別ごとの入学から卒業までの教員希望調査及び教員就職率の追跡調査を行うこととし、随時、統計情報を就職・連携室会議に報告することとした。</p> |